

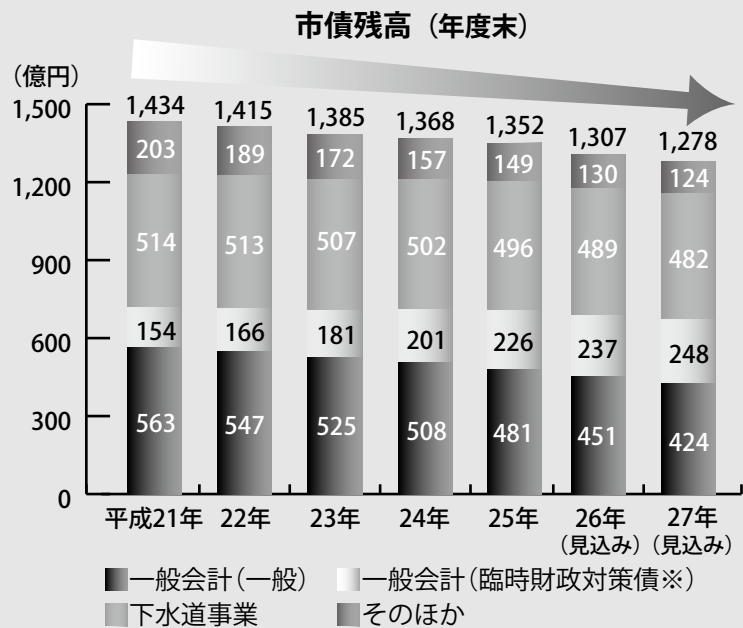
特別会計 国民健康保険など特定の事業を行うために、一般会計とは別に保険料などの収入で運営する会計

会 計 名	予 算 額	対前年比	平成27年度予算の主な特徴
国民健康保険事業	129億8,000万円	10.6%	保険税3年連続据え置き、賦課限度額77万円から81万円へ低所得者の軽減措置(5割軽減・2割軽減)の拡充
簡 易 水 道 事 業	4,030万円	21.4%	企業会計への移行に向けた準備
農業集落排水事業	5億8,340万円	12.4%	那谷地区施設整備、企業会計への移行に向けた準備
介 護 保 険 事 業	94億9,300万円	1.6%	保険料改定(月額基準額5,750円から6,100円へ)低所得者の保険料(1段階)の軽減料率0.5から0.45へ保険料率11段階から13段階へ、上限料率2.0から2.5へ
公 債 管 理	82億1,620万円	▲13.2%	借金(市債)を一般会計から分離して適正に管理
工業団地造成事業	1億1,270万円	▲39.1%	正蓮寺エリア団地造成(実施設計・用地取得)
後期高齢者医療	12億3,260万円	▲ 3.9%	低所得者の軽減措置(5割軽減・2割軽減)の拡充
計	326億5,820万円	0.3%	

企業会計 病院や上下水道などの料金収入で、民間企業のように事業収益で運営する会計

会 計 名	予 算 額	対前年比	平成27年度予算の主な特徴
水 道 事 業	30億9,820万円	▲ 4.4%	水道基幹施設(丸の内配水池)の耐震化に向けた基本設計 配水施設管網等更新計画策定
公共下水道事業	82億6,720万円	2.0%	浸水対策：九竜橋川雨水ポンプ場増設(～平成28年度) 水質保全：中央浄化センター水処理1系改築(～平成29年度)
病 院 事 業	90億 600万円	2.7%	車椅子専用駐車場屋根設置、CT装置や透析装置など高度医療機器の更新
計	203億7,140万円	1.3%	

財政の健全化 平成21年度末から5年間で市債を127億円改善見込み



小松市の借金(市債)の残高は、市債発行の抑制や借金の繰上げ返済を行ったことなどにより、平成21年度の1,434億円をピークに平成22年度以降は減少に転じています。

平成26年度末の市債残高は、前年度より約45億円改善し、全会計の残高は約1,307億円となる見込みです。

10年ビジョンでは平成21年度の市債残高を10年間で200億円改善することを目標にしています。

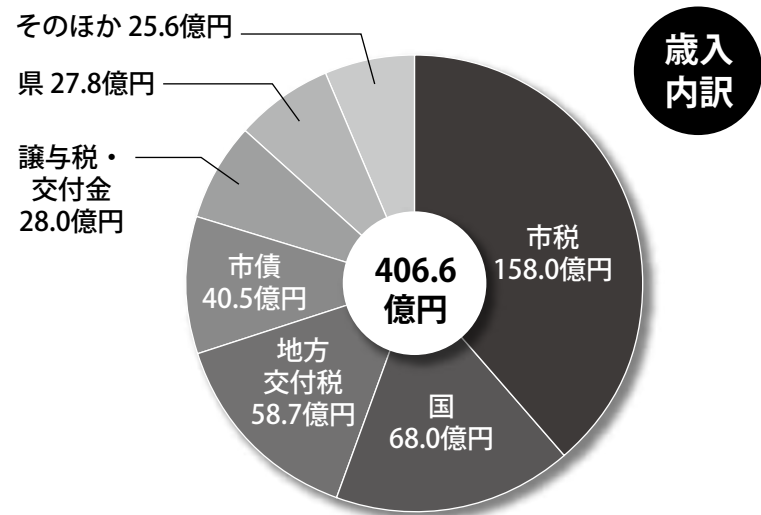


※本来、国から地方交付税としてもらえるはずのお金について、国の予算不足の穴埋めとして市が発行する借金。

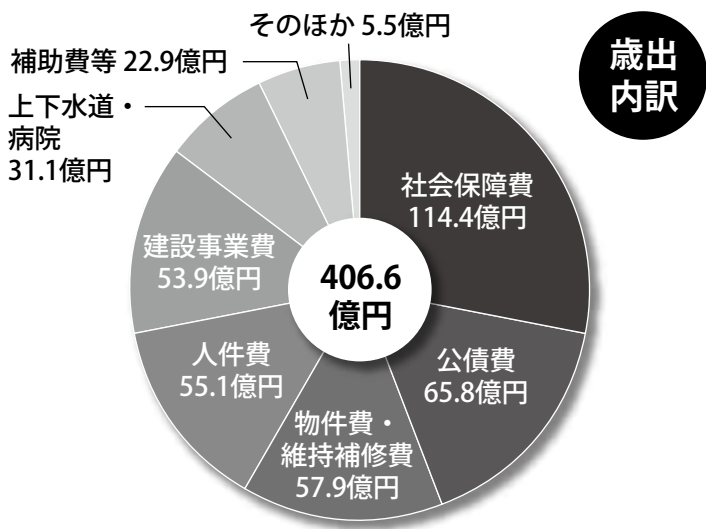
平成27年度の予算が決まりました！

一般会計	406億6,000万円	(対前年比1.4%増)
特別会計	326億5,820万円	(対前年比0.3%増)
企業会計	203億7,140万円	(対前年比1.3%増)
総 額	936億8,960万円	(対前年比1.0%増)

一般会計 福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計



市税は、景気の回復傾向により対前年比3億円増。地方交付税は、市税の増加に伴い対前年比2.1億円減。



建設事業費は、消防救急デジタル無線整備など暮らしに必要なインフラ整備のため対前年比10億円増。人件費は、退職職員の減少で対前年比3.8億円減。

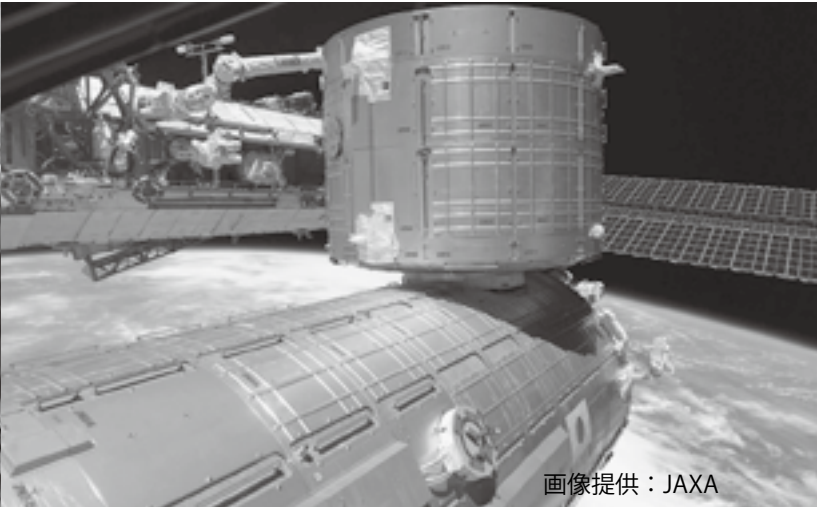
予算は、1年間の収入と支出の見積もりで、市の方向性を定める大切なものです。北陸新幹線金沢開業や第66回全国植樹祭の開催を機に、まちづくり・ひとづくりのレベルが一段と高まるよう当初予算を工夫しました。全国市区でトップクラスの住みよさ、出産・子育て、高齢化対応度などの更なるランクアップを目指します。

問い合わせ 財政課 ☎ 24・8144

北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」を目指して

平成27年度 小松市の予算





成長

こまつ創生戦略

◎「地方版総合戦略」の策定

- ・今後5カ年のこまつ版「総合戦略」の策定【3月補正】 1,000万円

◎知の拠点～小松へ新しいひとの流れをつくる～

- ・小松短期大学、こまつ看護学校の再編・発展に向けた改革案の具体化検討【3月補正】 300万円
- ・サイエンスヒルズこまつにJAXA「宇宙実験棟」の実物大模型を一部設置 3,500万円

◎ICTの活用でもっと便利なまちに

- ・平成28年1月からスタートする社会保障・税番号制度の準備・普及促進 1億4,614万円
- ・平成28年1月からコンビニで住民票などの証明書を発行 2,270万円

北陸の成長を引っばるまちづくり

◎人・モノ・文化が交差する南加賀のターミナル「JR小松駅」

- ・北陸新幹線建設に伴う負担金、新幹線小松駅舎のデザイン検討 6,040万円
- ・民間事業者による小松駅南ブロックの複合施設建設の助成 1億円

◎もっとたくましい「ものづくり」のまちへ

- ・正蓮寺エリアに新産業団地を造成（測量・設計、用地取得） 8,710万円

◎全国にアピールする1次産業

- ・「環境王国こまつ」の拠点施設「せせらぎの郷」のリニューアル（実施設計） 1,000万円
- ・「第17回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」の開催（11月22日～23日） 420万円

豊かな地域資源を活かして

◎大きな節目を追い風に

- ・第66回全国植樹祭の開催（5月17日） 1,200万円
- ・北陸新幹線金沢開業に合わせ、いしかわ百万石加賀祭りや九谷焼360年南加賀3市フェアなどを開催 1,150万円

◎おもてなし体制の充実と観光資源のみがきあげ

- ・おもてなし力の向上（まちなか装飾、コンシェルジュによる案内） 350万円
- ・Wi-Fiスポット整備（木場潟公園、航空プラザ、大倉岳高原スキー場ロッジ）【3月補正】 750万円
- ・「メモリアルプレゼンツ」と銘打ち、特別な記念日を小松の景勝地でプロデュース【3月補正】 100万円

◎歴史ある伝統文化を活かした新しい小松文化の創造

- ・平成28年の曳山250年に向け、大人の歌舞伎教室開校、曳山資料のデータベース化など 760万円
- ・市民伝統芸能祭の開催（11月14日～15日） 250万円
- ・加賀九谷焼展の開催（8月1日～9月6日東京ステーションギャラリー、10月3日～12月20日南加賀会場） 750万円

くらし

やさしいまちづくり

◎もっと全国トップレベルの出産・子育てしやすいまちに

- ・10月から18歳以下の子供の医療費を無料、窓口での負担なし 4億800万円
- ・4月から第3子以降の保育料の無料化【3月補正】 5,380万円
- ・放課後児童クラブの対象児童拡大（～小学6年生）に伴う施設5カ所を整備 7,780万円
- ・引き続き子育て世帯臨時特例給付金（3,000円）・臨時福祉給付金（6,000円）を給付 1億6,050万円

◎高齢者や障がいのある人が暮らしやすいまちに

- ・公共施設のバリアフリー調査やおもいやり駐車場の整備 280万円

◎環境にやさしいエコなまちに

- ・（仮称）エコロジーパークこまつ・クリーンセンターの建設（平成30年竣工） 3,060万円
- ・環境にやさしい次世代低公害バスの購入 7,920万円
（平常時：小中学校の校外学習、災害時：避難所への電力供給）

予防先進都市に向けて

◎早期発見・早期対策

- ・歯科口腔健診を40歳～70歳の10歳ごとから、20歳～80歳の5歳ごとに拡大 742万円

◎シニアが元気に活躍できるまちに

- ・高齢者総合相談センターを6カ所から10カ所へ拡大 1億2,365万円

◎豊かなスポーツライフの推進

- ・末広テニスコートのリニューアル（人工芝コート8面） 5,700万円
- ・障がい者スポーツ振興のための指導者育成やスポーツ用具購入など 180万円
- ・日本スポーツマスターズ2015石川県大会の開催（サッカー、バスケットボール） 300万円

◎安全・安心なまちづくり

- ・防災行政無線個別受信機の設置（96町内） 9億8,938万円
- ・消防本部や消防署と消防・救急車両の無線のデジタル化 3億2,000万円
- ・小学校8校、中学校5校の体育館に天井落下防止ネットを設置 9,360万円

地域消費喚起・生活支援

- ・プレミアム率15%の商品券発行（発行総額4.25億円）【3月補正】 6,400万円
- ・プレミアム率20%のチャージ式プリペイドカードを発行（発行総額2億円）【3月補正】 6,800万円

※先行実施している一部の施策については、3月補正額を計上しています。